

テーマ：『訪れた人が住み続けたいくなる香川を目指して』

～ 魅力ある地域ブランドの発信から、地域の活性化へ ～

〈講師〉 同志社大学経済学部 特別客員教授（文化庁文化芸術創造都市振興室長） 佐々木 雅幸氏
近畿大学経営学部 教授 高橋 一夫氏（ふるさと財団 地域再生マネージャー）

開催日時 2015年11月13日（金） 13:30～16:30（開場13:00）

会場 香川県庁内 県庁ホール 高松市番町四丁目1番10号（香川県庁東館2階）

参加費 無料

【セミナー概要】

香川県では今後更なる人口減少・高齢化の進行が見込まれており、公共サービスの低下や地域コミュニティ機能の低下が特に大きな課題となっています。

これらの地域課題に対しては若い世代の社会減を食い止めるため、若い世代が地元香川で暮らせるよう、働く場の確保として地域の宝である地場産品の振興等に取り組むことはもちろんのこと、文化や芸術の視点からの地域づくりが求められています。これを実現する方法として香川に生まれ育った者が住み続けたいと思うだけでなく、香川を訪れた旅行者が移住者になるように取組みをつなげて人口の減少と高齢化に歯止めをかけ、移住者（よそもの）の視点から新しい地域ブランドの魅力を発信し、地域経済の活性化を図ることを提案したいと考えます。

そこで本セミナーではその方策の一助にさせていただくため、基調講演として 同志社大学経済学部 特別客員教授の佐々木雅幸氏をお招きし、「創造性と文化芸術による地域再生」をテーマにお話しいただきます。

次に事例発表として地域再生マネージャーとして過去6市町の事業に関わっている他多方面で活躍しておられる近畿大学経営学部 教授の高橋一夫氏より「観光客の体験を住みたい価値に！ ～ 神戸・長崎の事例をもとに考える ～」をテーマに実践的な事例紹介をしていただきます。

【次第】

- | | | |
|-------|----------|--|
| 13:30 | 開会挨拶 | （一財）地域総合整備財団 理事長 柚木 憲一 |
| 13:40 | 基調講演 | テーマ：『創造性と文化芸術による地域再生』
同志社大学経済学部 特別客員教授
（文化庁文化芸術創造都市振興室長） 佐々木 雅幸氏 |
| 14:40 | 質疑応答 | |
| 14:55 | 休憩 | ～ 15分間 ～ |
| 15:10 | 事例発表 | テーマ：『観光客の体験を住みたい価値に！
～ 神戸・長崎の事例をもとに考える ～』
近畿大学経営学部 教授 高橋 一夫氏 |
| 16:10 | 質疑応答 | |
| 16:25 | 財団からのご案内 | （一財）地域総合整備財団 地域再生部長 秦 賢蔵 |
| 16:30 | 閉会 | |

【セミナー内容等のお問い合わせ先】

（一財）地域総合整備財団（ふるさと財団）地域再生部（担当）松山（まつやま） 03-3263-5736

【参加申し込みのお問い合わせ先】

香川県 政策部 地域活力振興課 総務・地方創生グループ（担当）小野（おの） 087-832-3105

<基調講演>

同志社大学経済学部 特別客員教授（文化庁文化芸術創造都市振興室長） 佐々木 雅幸氏

1949年名古屋市生まれ

京都大学経済学部卒、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了、京都大学博士（経済学）

1980年 大阪経済法科大学経済学部専任講師

1985年 金沢大学経済学部助教授

1992年 金沢大学経済学部教授

（1999年～2000年 ポローニヤ大学客員研究員）

2000年 立命館大学政策科学部教授

2003年 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授

2007年 大阪市立大学都市研究プラザ所長

等を経て、2014年4月から現職。



日本における創造都市研究の第一人者であり、ユネスコ創造都市ネットワークや東アジア文化都市に関するアドバイザーとして活躍している。

著書に『創造都市への挑戦』（岩波現代文庫版、岩波書店 2012年）、『創造都市と日本社会の再生』（公人の友社 2004年）、『創造都市への挑戦』（岩波書店 2001年）等多数。

<事例発表>

近畿大学経営学部 教授 高橋 一夫氏

1959年名古屋生まれ

大阪府立大学大学院経済学研究科博士前期課程修了。専門は観光マーケティング。

1983年 JTB 入社。

2001年 西日本営業本部 営業開発部長

2003年 東日本営業本部 イベント・コンベンション営業部長

2004年 コミュニケーション事業部長

2007年 流通科学大学サービス産業学部 教授

2012年 近畿大学経営学部 教授 現在に至る



JTB 在職中は2001年東アジア競技大会招致概要計画書の策定、2002年ライオンズクラブ国際大会大阪大会および2004年ロータリークラブ国際大会大阪大会の招致、2008年大阪オリンピック IOC 評価委員会プレゼンテーションなど主に大規模イベント・コンベンション事業に従事。

地域再生マネージャーとして過去6市町の事業（和歌山県橋本市、徳島県三好市等）に関わっている他、各地の新たな観光振興組織の事業計画策定に携わっている。特に田辺では世界旅行ツーリズム協議会の「明日へのツーリズム大賞」ファイナリストに選ばれるなど日本型DMO（Destination Marketing/ Management Organizationの略、観光地域づくりとマーケティングを行う官民一体の観光ビジネス共同体）の先駆けとなっている。

また、関西経済同友会「スポーツコミッション関西」座長として2021年ワールドマスターズゲームズ（世界30カ国60都市で開催されてきた国際的なマルチスポーツの大会）の関西誘致に貢献、同組織委員会評議員兼常任委員に就任している。

著書に『CSV 観光ビジネス』（学芸出版社 2014年）、『旅行業の扉』（碩学舎 2013年）、『観光のビジネスモデル』（学芸出版社 2011年）など。